

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成25年12月26日(2013.12.26)

【公開番号】特開2013-230157(P2013-230157A)

【公開日】平成25年11月14日(2013.11.14)

【年通号数】公開・登録公報2013-062

【出願番号】特願2013-139604(P2013-139604)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 1 2 N	9/52	(2006.01)
A 6 1 K	38/46	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 1 2 N	9/52	
A 6 1 K	37/54	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	43/00	1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月9日(2013.10.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被験体におけるIgA腎症の処置のための医薬組成物の製造における、Haemophilus influenzae IgA1プロテアーゼの使用。

【請求項2】

前記IgA1プロテアーゼはタグに融合されたものである、請求項1に記載の使用。

【請求項3】

前記タグは、c-Myc、HA、VSV-G、HSV、FLAG、V5、およびHISからなる群より選択される、請求項2に記載の使用。

【請求項4】

前記タグは、6つのヒスチジンを含む、請求項3に記載の使用。

**【請求項 5】**

前記IgA1プロテアーゼは、IgA1のヒンジ領域で切断する、請求項1に記載の使用。

**【請求項 6】**

前記医薬組成物は、静脈内投与用剤型であることを特徴とする、請求項1に記載の使用。

**【請求項 7】**

前記医薬組成物は、さらに、等張性ベヒクルを含む、請求項6に記載の使用。

**【請求項 8】**

前記医薬組成物は、単位投与剤型である、請求項1に記載の使用。

**【請求項 9】**

前記単位投与剤型は、前記被験体の体重1kgあたり50～100μgの前記IgAプロテアーゼを含む、請求項8に記載の使用。

**【請求項 10】**

前記医薬組成物は、腹腔内注射用剤型であることを特徴とする、請求項1に記載の使用。

**【請求項 11】**

Haemophilus influenzae IgA1プロテアーゼを含む、被験体におけるIgA腎症の処置のための組成物。

**【請求項 12】**

前記IgA1プロテアーゼはタグに融合されたものである、請求項11に記載の組成物。

**【請求項 13】**

前記タグは、c-Myc、HA、VSV-G、HSV、FLAG、V5、およびHISからなる群より選択される、請求項12に記載の組成物。

**【請求項 14】**

前記タグは、6つのヒスチジンを含む、請求項13に記載の組成物。

**【請求項 15】**

前記IgA1プロテアーゼは、IgA1のヒンジ領域で切断する、請求項11に記載の組成物。

**【請求項 16】**

前記医薬組成物は、静脈内投与用剤型であることを特徴とする、請求項11に記載の組成物。

**【請求項 17】**

前記医薬組成物は、さらに、等張性ベヒクルを含む、請求項16に記載の組成物。

**【請求項 18】**

前記医薬組成物は、単位投与剤型である、請求項11に記載の組成物。

**【請求項 19】**

前記単位投与剤型は、前記被験体の体重1kgあたり50～100μgの前記IgAプロテアーゼを含む、請求項18に記載の組成物。

**【請求項 20】**

前記医薬組成物は、腹腔内注射用剤型であることを特徴とする、請求項11に記載の組成物。